

2019年度年間授業計画

教科科目		教科(数学) 科目(数学Ⅰ)		単位数:【4単位】				
教科担当		教科担当者:宮本(1,2,3,4,5組) 印、今村(2,3,4,5組) 印、大串(1,4,5組) 印						
使用教科書:		高校数学Ⅰ(実教出版)						
副教材等:		サブノート数学Ⅰ(実教出版)						
期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数			
一 学 期	4	1章 数と式 1節 整式 ①文字式のきまり ②整式 ③整式の加法・減法	・文字式についての基本事項の理解を深める。 ・中学の復習をしながら整式の基本事項の理解を深め、同類項が整理できるようにする。 ・同類項を整理することによって、整式の和や差が求められるようにする。	・学習内容の理解度・定着度・応用力 ・学習態度 ・定期考査の得点の合計と提出物(ノート)で評価する。	44			
		3章 三角比 1節 三角比 ①三角形 ②三角比	・相似な三角形、三平方の定理などについて復習し、確認する。 ・ $\tan A$, $\sin A$, $\cos A$ の意味を理解する。					
	5	1章 数と式 1節 整式 ④整式の乗法 ⑤乗法公式による展開	・指数法則を理解し、さらに分配法則を利用して多項式どうしの乗法ができるようにする。 ・乗法公式を利用して式の展開ができるようにする。 ・定期考査により、理解度・定着度を高める。					
		3章 三角比 1節 三角比 ③三角比の利用	・ $\tan A$, $\sin A$, $\cos A$ を図形の計量に利用できるようにする。 ・定期考査により、理解度・定着度を高める。					
	6	1章 数と式 1節 整式 ⑥ 因数分解 2節 実数 ① 平方根とその計算	・式の展開の逆の計算であることに注意し、式の形を見分けて公式を活用できるようにする。 ・中学で学んだ事項を確認し、根号を含む式の加法・減法・乗法ができるようにする。 ・分母に根号を含む分数について、分母の有理化ができるようにする。					
		3章 三角比 1節 三角比 ④ 三角比の相互関係 2節 三角比の応用 ① 三角比の拡張	・ $\tan A$ と $\sin A$, $\cos A$ の関係や $\sin A$ と $\cos A$ の関係を学び、図形の計量に活用できるようにする。 ・座標を用いて、三角比を 0° から 180° まで拡張し、鈍角の三角比の値を求められるようにする。					
	7	1章 数と式 2節 実数 ② 実数	・数の四則演算の可能性について学び、数の体系を拡張して来た基本的な考え方や実数の性質について理解できるようにする。 ・定期考査により、理解度・定着度を高める。					
		3章 三角比 2節 三角比の応用 ② 三角形の面積	・2辺とその間の角の正弦を用いて、三角形の面積を求めることができるようにする。 ・定期考査により、理解度・定着度を高める。					
	二 学 期	9	1章 数と式 3節 方程式と不等式 ① 1次方程式 ② 不等式 ③ 不等式の性質			・中学で学んだ1次方程式の復習しながら、方程式の意味や解法について学ぶ。 ・身近な例を使って不等式をつくり、不等式の意味や不等式の解の意味を理解する。 ・不等式をみたす x の値の範囲を数直線上に図示する。 ・不等式の性質を学ぶ。	・学習内容の理解度・定着度・応用力 ・学習態度 ・定期考査の得点の合計と提出物(ノート)で評価する。	56
			3章 三角比 2節 三角比の応用 ③ 正弦定理 ④ 余弦定理			・3つの辺と3つの角の正弦の関係を学び、活用できるようにする。 ・2辺とその間の角の余弦を用いて、三角形の他の1辺の長さを求めることができるようにする。		
10		1章 数と式 3節 方程式と不等式 ④ 1次不等式 ⑤ 連立不等式 ⑥ 不等式の応用	・1次方程式の解法と対比させながら、1次不等式を解くことができるようにする。 ・連立不等式の意味を理解し、その解を求められるようにする。 ・1次不等式を利用して、応用問題が解けるようにする。 ・定期考査により、理解度・定着度を高める。					
		3章 三角比 2節 三角比の応用 ⑤ 正弦定理と余弦定理の利用	・三角比を用いて、平面上の距離や空間における距離を測量できるようにする。 ・定期考査により、理解度・定着度を高める。					

2019年度年間授業計画

教科科目	教科(数学) 科目(数学Ⅰ) 単位数:【4単位】
教科担当	教科担当者:宮本(1,2,3,4,5組) 印、今村(2,3,4,5組) 印、大串(1,4,5組) 印
使用教科書:	高校数学Ⅰ(実教出版)
副教材等:	サブノート数学Ⅰ(実教出版)

期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
	11	2章 2次関数 1節 関数とグラフ ① 1次関数とそのグラフ ② 2次関数とそのグラフ	・中学の復習をしながら、関数の意味と1次関数のグラフについて学ぶ。・2次関数の意味を理解し、 $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解して、グラフを正しくかけるようにする。 ・2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフと $y=ax^2$ のグラフの位置関係を理解し、グラフを正しくかけるようにする。		
		4章 集合と論証 1節 集合 ① 集合と要素 2節 命題と証明 ① 命題	・集合の概念や用語を理解する。 ・命題の概念や用語を理解できるようにする。		
	12	2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化 ① 2次関数の最大値・最小値	・2次関数のグラフを利用して、2次関数の最大値・最小値が求められるようにする。 ・ x の値の範囲に制限がある場合の2次関数の最大値・最小値が求められるようにする。 ・2次関数を利用して、応用問題が解けるようにする。 ・定期考査により、理解度・定着度ををはかる。		
		4章 集合と論証 2節 命題と証明 ② いろいろな証明法	・対偶による証明・背理法による証明ができるようにする。 ・定期考査により、理解度・定着度ををはかる。		
三 学 期	1	2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化 ② 2次関数のグラフと2次方程式	・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解する。	・学習内容の理解度・定着度・応用力 ・学習態度 ・定期考査の得点の合計と提出物(ノート)で評価する。	40
		5章 データの分析 1節 データの整理 ① 統計とグラフ ② データの整理	・中学校以前で学んだ統計グラフを復習する。 ・中学校以前で学んだ度数分布表を復習する。		
	2	2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化 ① 2次関数のグラフと2次不等式	・2次関数のグラフを利用して2次不等式を解けるようにする。		
		5章 データの分析 2節 データの分析 ① 代表地 ② データの散らばり ③ 相関関係	・中学校で学んだ平均値・中央値・最頻値について復習し、確認する。 ・四分位数の意味を理解し、それをもちいて四分位範囲・四分位偏差を求めることができるようにする。 ・分散と標準偏差を求めることができるようにする。 ・相関関係について理解し、相関係数を求めることができるようにする。		
	3	1年間のまとめ 就職試験対策	・定期考査により、理解度・定着度ををはかる。 ・就職試験対策として問題練習を行う。		
		5章 データの分析 3節 コンピュータによる統計処理 ① 表計算ソフトウェアによる統計処理 ② グラフの表示	・定期考査により、理解度・定着度ををはかる。 ・表計算ソフトを用いて、代表値や散らばりを求めることができるようにする。 ・表計算ソフトを用いて、グラフや散布図を表示することができるようにする。		
					140